

健康いわて21プラン（第2次）の推進に関する 健康づくり関連事業調査概要

1 調査の目的

平成26年3月に策定した「健康いわて21プラン（第2次）」の取組みの推進にあたり、関係機関・団体の取組体制及び実施する健康づくり関連事業について把握することを目的とする。

2 調査対象

県及び保健所、市町村、健康いわて21プラン推進協議会関係機関・団体を調査対象とする。

【対象】

- ・健康いわて21プラン推進協議会構成機関・団体
(対象：22機関・団体、回答率63.6%)
- ・県関係部局 (対象：保健福祉部7室課・8部局、回答率：100%)
- ・県保健所 (対象：9保健所、回答率100%)
- ・市町村 (対象：33市町村、回答率100%)

3 調査内容及び取りまとめ状況

各分野に係る関係機関・団体等の取組み状況の有無、取組みの内容、他機関・団体との連携の有無等について調査。

【内容】

- (1) 健康いわて21プラン（第2次）の推進体制について
- (2) 現在実施している事業のうち健康いわて21プラン（第2次）に関連する事業の平成26年度事業実績等について

4 調査結果の活用

調査によって得られた結果は、活動状況を分析・評価する際の基礎資料とする。

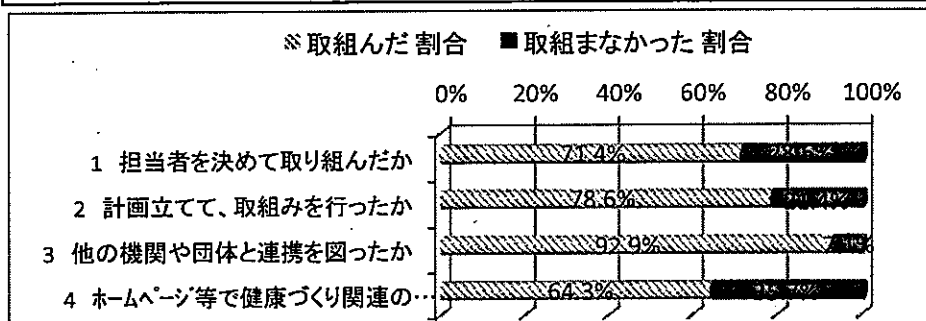
健康いわて21プラン(第2次)の推進に関する健康づくり関連事業調査結果

1 健康いわて21プラン(第2次)の推進体制

(1) 推進協議会構成機関・団体

(N=14)

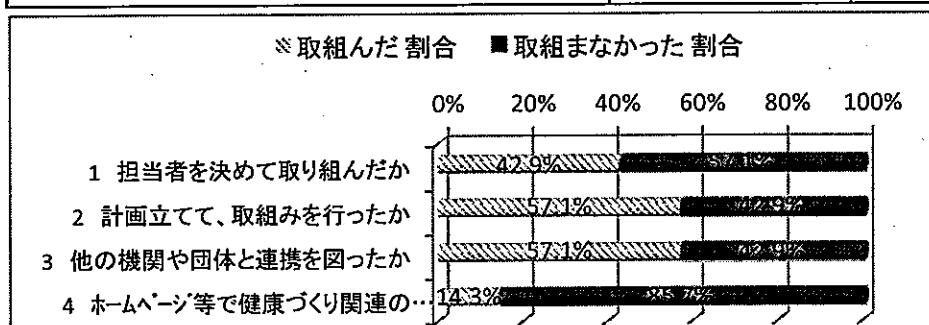
項目	取組んだ		取組まなかった	
	実数	割合	実数	割合
1 担当者を決めて取り組んだか	10	71.4%	4	28.6%
2 計画立てて、取組みを行ったか	11	78.6%	3	21.4%
3 他の機関や団体と連携を図ったか	13	92.9%	1	7.1%
4 ホームページ等で健康づくり関連の取組みを公表したか	9	64.3%	5	35.7%



(2) 県関係部局

(N=7)

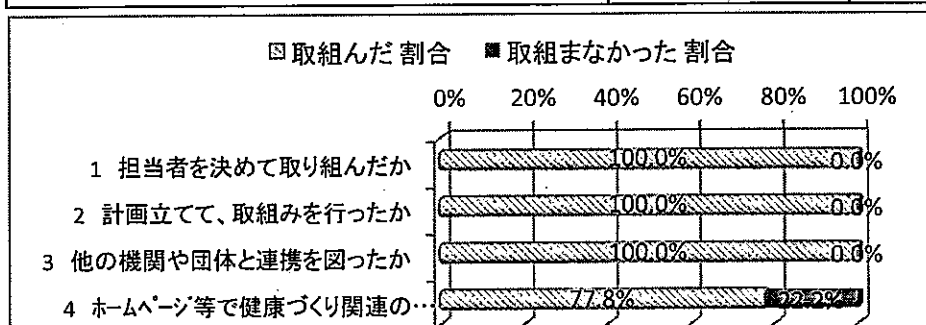
項目	取組んだ		取組まなかった	
	実数	割合	実数	割合
1 担当者を決めて取り組んだか	3	42.9%	4	57.1%
2 計画立てて、取組みを行ったか	4	57.1%	3	42.9%
3 他の機関や団体と連携を図ったか	4	57.1%	3	42.9%
4 ホームページ等で健康づくり関連の取組みを公表したか	1	14.3%	6	85.7%



(3) 県保健所

(N=9)

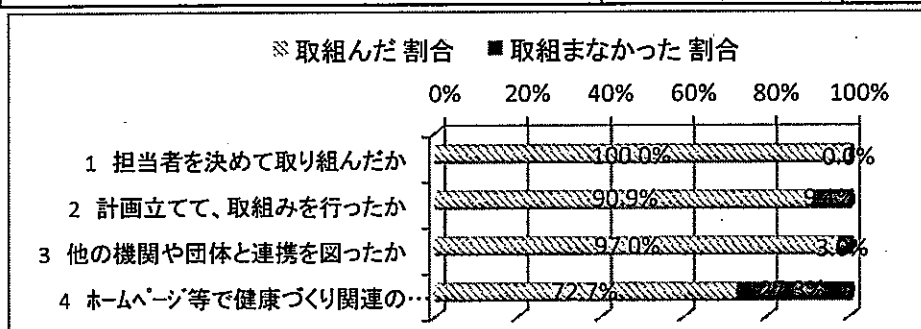
項目	取組んだ		取組まなかった	
	実数	割合	実数	割合
1 担当者を決めて取り組んだか	9	100.0%	0	0.0%
2 計画立てて、取組みを行ったか	9	100.0%	0	0.0%
3 他の機関や団体と連携を図ったか	9	100.0%	0	0.0%
4 ホームページ等で健康づくり関連の取組みを公表したか	7	77.8%	2	22.2%



(4) 市町村

(N=33)

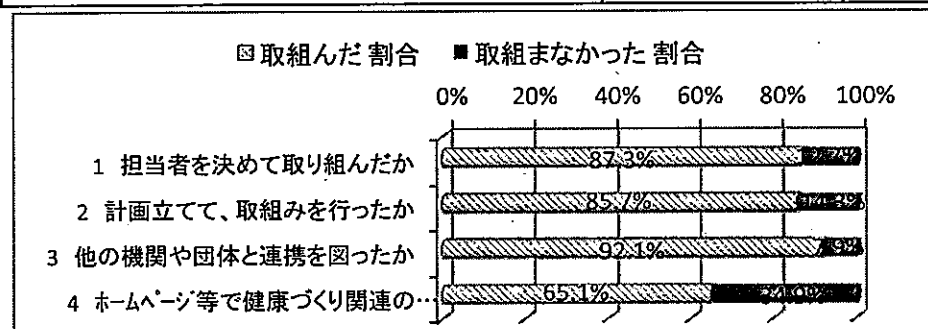
項目	取組んだ		取組まなかった	
	実数	割合	実数	割合
1 担当者を決めて取り組んだか	33	100.0%	0	0.0%
2 計画立てて、取組みを行ったか	30	90.9%	3	9.1%
3 他の機関や団体と連携を図ったか	32	97.0%	1	3.0%
4 ホームページ等で健康づくり関連の取組みを公表したか	24	72.7%	9	27.3%



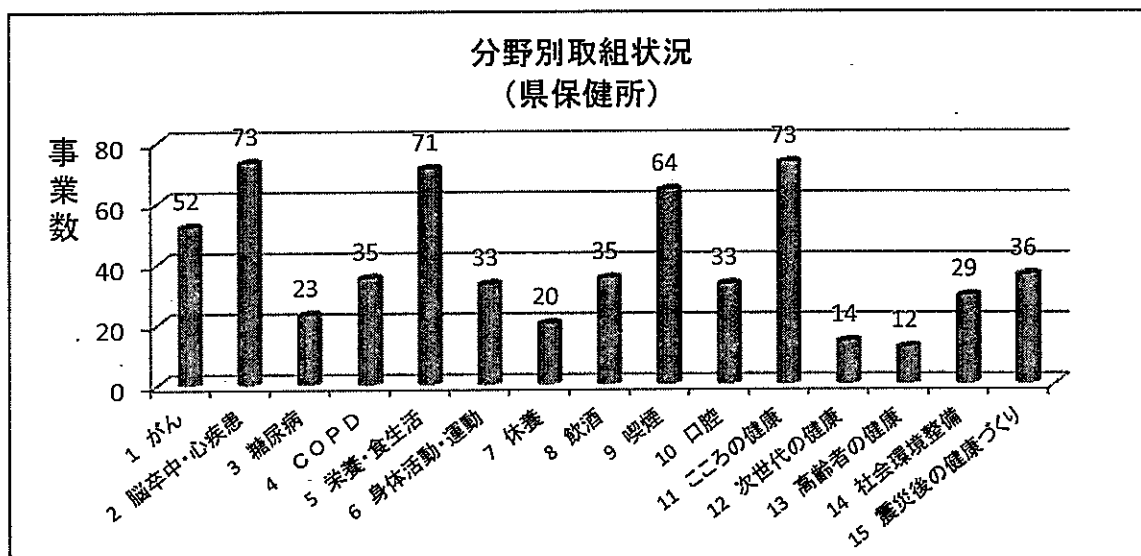
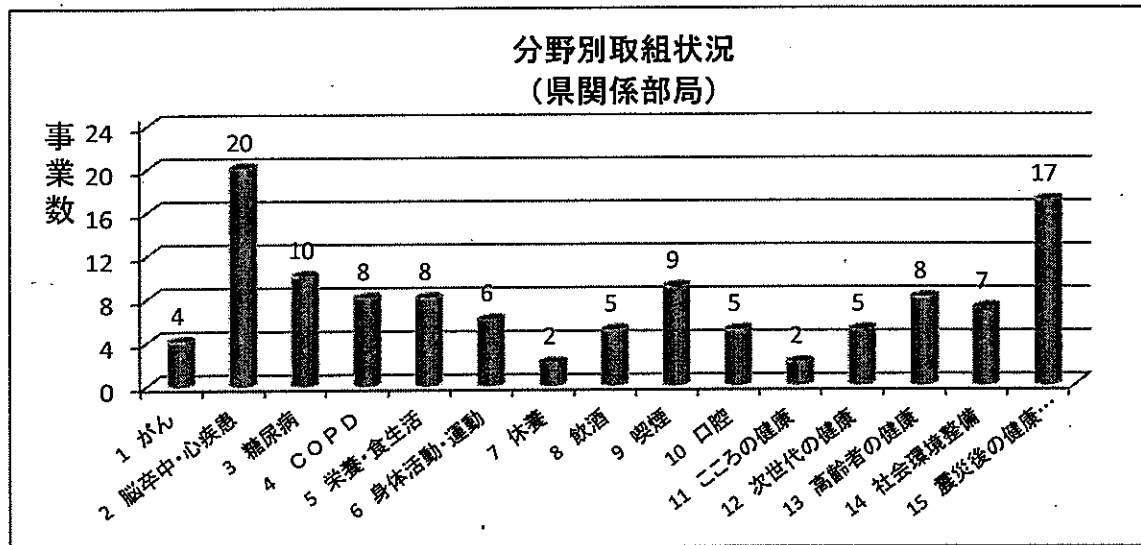
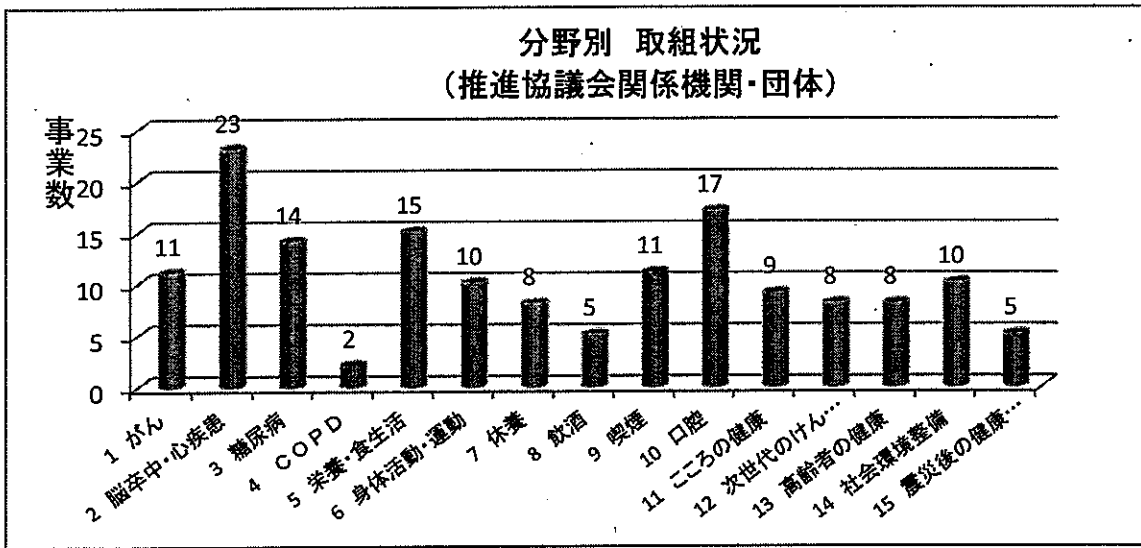
(5) 合計

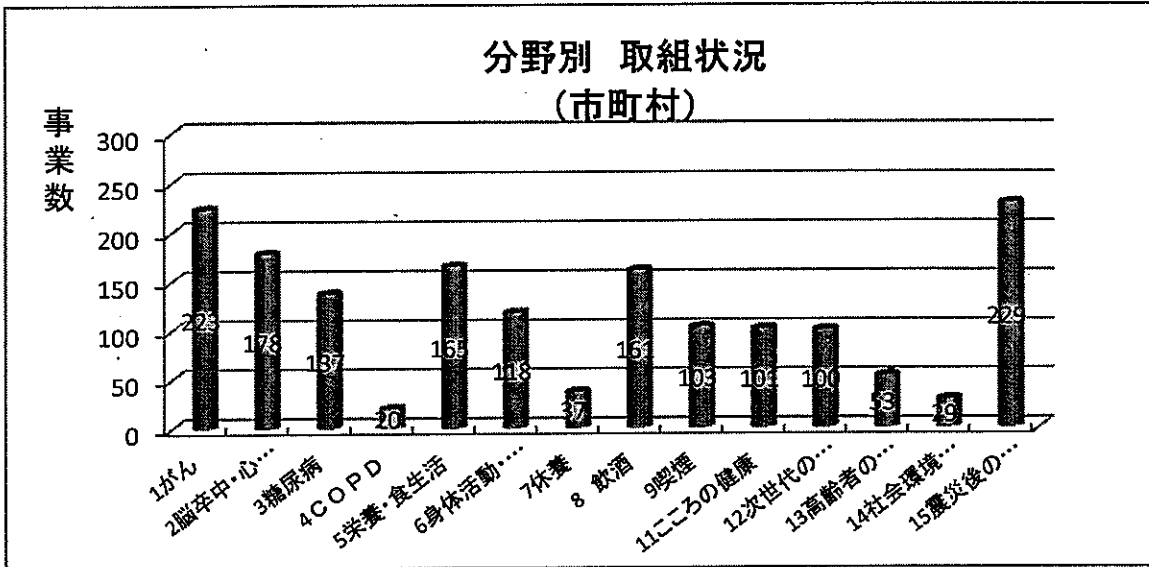
(N=63)

項目	取組んだ		取組まなかった	
	実数	割合	実数	割合
1 担当者を決めて取り組んだか	55	87.3%	8	12.7%
2 計画立てて、取組みを行ったか	54	85.7%	9	14.3%
3 他の機関や団体と連携を図ったか	58	92.1%	5	7.9%
4 ホームページ等で健康づくり関連の取組みを公表したか	41	65.1%	22	34.9%

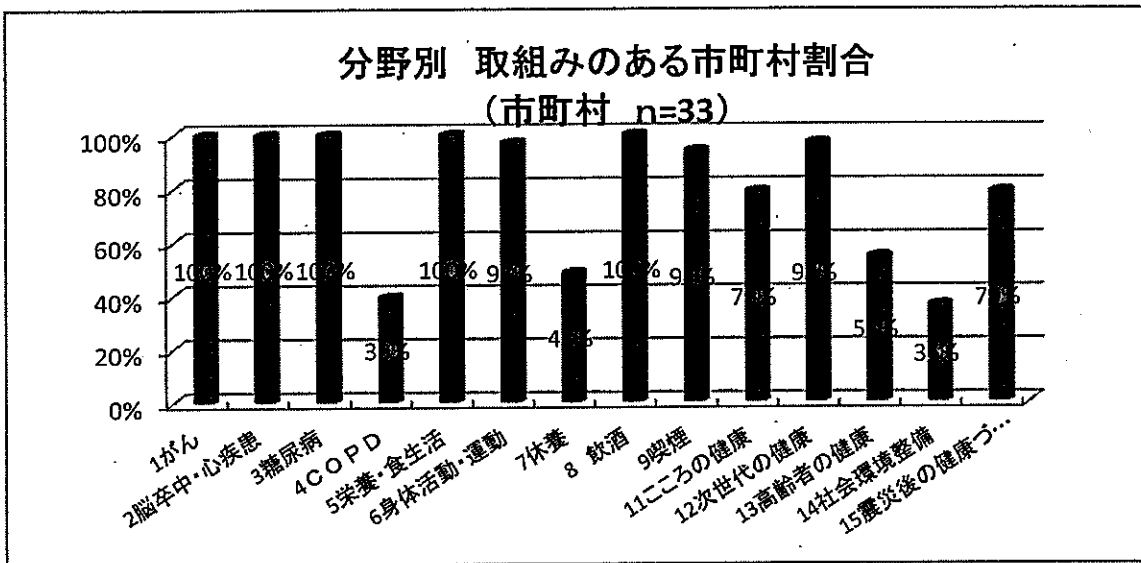


2 平成26年度事業 健康いわて21プラン(第2次)取組状況





※「10口腔の健康づくり」は別途調査中のため省略



別紙1

健康いわて21プラン(第2次)の推進に関する健康づくり関連事業調査

機関・団体名 _____ 担当者名 _____ 連絡先(電話) _____ (FAX) _____

1. 健康いわて21プラン(第2次)の推進体制について

- 各項目について、いずれかを選択してください。
- (1) 担当者を決めましたか。ア はい イ いいえ
 - (2) 計画を立てて、取り組みを行いましたか。ア はい イ いいえ
 - (3) 他の機関や団体と連携を図りましたか。ア はい イ いいえ
 - (4) 自分の機関・団体のホームページなどで健康づくり関連の取り組みを公表しましたか。ア はい イ いいえ

【記入要領】1の①～④から該当する分野を選択し記入すること

別紙2「健康いわて21プラン(第2次)取組項目一覧」から該当する番号を選択し記入すること

「所属構成員(職員、会員等)」、又は「一般国民」等の区別を明確にし記入すること

実施前後変化など、成果把握している場合に、可能な範囲で記入願います

2. 現在実施している事業のうち、「健康いわて21プラン(第2次)」に関連する健康づくり関連事業について記入してください。

※ 健康づくり関連事業については、別紙2「健康いわて21プラン(第2次)取組項目一覧」の取組項目及び取組内容を参考に記入ください。

(1) 平成26年度事業実績

No.	分野	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)	平成27年度事業予定(継続の有無)(変更点)
							事業実施量(アウトプット) (例)実施回数、参加者数など	成果(アウトカム) (例)実施前後の変化など			
1											
2											
3											
4											

(2) 平成27年度新規事業(予定) ※(1)に記載の継続事業の他、新規で実施予定がある場合はご記入ください

No.	分野	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)
							事業実施量 (アウトプット) (例)実施回数、参加者数など	成果 (アウトカム) (例)実施前後の変化など		

【記入要領】

- 「分野」：次の区分により、該当する番号を記入してください。複数の分野に該当する場合は、該当するすべての番号を記入してください。
①がん、②脳卒中(脳血管疾患)・心疾患、③糖尿病、④慢性閉塞性肺疾患(COPD)、⑤栄養・食生活、⑥身体活動・運動、⑦休養、⑧喫煙、⑨口腔の健康、⑩こころの健康、⑪次世代の健康、⑫高齢者の健康、⑬健康を支え、守るための社会環境の整備、⑭東日本大震災津波後の健康づくり
- 「事業目的」：別紙「健康いわて21プラン(第2次)取組項目一覧」から事業目的に該当する項目番号を選択し記入してください。
- 「事業内容」：記入例を参考に完結に記入してください。
- 「事業期間」：開始年度を記入してください。毎年実施している場合は「毎年実施」と記入してください。
- 「対象・数」：対象を記入し、数がわかる場合は記入してください。(例：乳幼児保護者 100名)
- 「事業成果」：アウトプット・(例)実施回数、参加者数など アウトカム・(例)実施前と実施後の変化などを記入してください。
- 「連携機関」：当該事業に関係する機関・団体名等を記入してください。
- 「備考(※主催・共催・委託等の別)」：主催、共催、委託の別を記入してください。また、補足説明がある場合は記入してください。

(3) 関係機関・団体が協働で事業を行ったり、連携を強化することにより、さらに効果が上がると思われる取組等を記入してください。

--

※「1～52の取組項目」から事業目的に該当する項目を選択のうえその番号を調査票の「事業目的」欄に記入してください

分野	目標項目	取組項目【選択肢】	取組内容
① がん	■がん検診受診率の向上(%) ■精密検査受診率の向上(%)	1 がんの予防	各分野(栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙、飲酒等)の生活改善に関する施策の実施及び「第2次岩手県がん対策推進計画」と連携した正しい知識の普及啓発 「世界禁煙デー」等の機会を通じたたばこの健康への悪影響に関する知識等の普及啓発や、禁煙支援、受動喫煙防止対策 「岩手県肝炎対策計画(第2期計画)」と連携した、肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及啓発や検診の推進 岩手県地域がん登録データの利活用及びがん登録等の推進に関する法律を踏まえた「全国標準データベースシステム」への移行による機能強化・拡充
		2 がんの早期発見	「健康増進普及月間」(9月)や「乳がん月間」(10月)などの機会を通じた、がんの正しい知識やがん検診受診の重要性に関する普及啓発 検診機関や関係機関・団体と連携した、がん検診未受診者が受診しやすい環境の整備(がん検診の実施期間の拡大、働く世代の受診に配慮した休日・夜間帯の検診実施、特定健康診査等との同時実施など) がんの種類や対象地域等を選定した重点的な普及啓発活動や保健推進(委)員による受診勧奨等 企業・医療保険者・検診機関等による課題対策検討会など、職域におけるがん検診受診率向上対策の検討(課題共有、受診率把握、効果的取組の検討など) 職域向け普及啓発リーフレットの配付などによる、雇用主や被雇用者のがん検診受診意識の醸成 主に働く世代を対象とした、市町村が実施する「がん検診無料クーポン」、及び、「検診手帳」の配布と連携した職域における受診率向上のための取組などの実施 コール・リコール(がん検診の受診勧奨・再受診勧奨)について、市町村や検診機関との検討を進め、その実施を支援 協定締結などによる、企業やNPO等民間団体との協力体制の構築 がん検診精密検査の未受診者に対する積極的な受診勧奨などの取組の実施 がん検診精密検査の受診率向上のための、岩手県地域がん登録データ(※)を利活用した効果的な普及啓発※「検診群」と「外来群」の5年生存率の比較など
② 脳卒中(脳血管疾患)・心疾患	■脳血管疾患の年齢調整死亡率の低下(人口10万対) ■心疾患の年齢調整死亡率の低下(人口10万対) ■収縮期血圧の平均値の低下(mmHg) ■LDLコレステロールが160mg/dl以上の者の割合の低下(%)	3 脳卒中(脳血管疾患)・心疾患の年齢調整死亡率の低下	県民や行政及び関係団体等が参画した推進会議の設置、及び、推進会議構成員の主体的な取組による県民が一体となった生活習慣改善の推進 TVCMや多様な広報手段を活用した正しい知識の普及啓発、及び、栄養・運動教室など脳卒中予防のための具体的な行動につながる機会の提供 ライフステージに応じた生活習慣病予防の普及啓発 生活習慣病予防のための普及啓発や実践活動に取り組むボランティア等の人材育成 脳卒中(脳血管疾患)・心疾患の危険因子(高血圧、喫煙、糖尿病、脂質異常症など)に関わる生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒及び喫煙等)の総合的な取組 岩手県地域脳卒中登録の利活用と心疾患登録の実施についての検討
		4 高血圧の改善	高血圧の予防・改善のための栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒に関する取組の実施 高血圧者への降圧薬服用の促進や医療機関への受診勧奨、診療連携の促進及び尿検査等による適切な食塩摂取量の把握
		5 脂質異常症の減少	脂質異常症の予防・改善のための栄養・食生活、身体活動・運動に関する取組の実施 脂身の多い肉の摂取を控えることや、油を使わない調理方法などの普及啓発
		6 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドロームの予防・改善のための栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙に関する取組の実施
		7 特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上	特定健康診査の実施期間の拡大や主に働く世代の受診に配慮した休日・夜間帯の健診実施、がん検診等との同時実施などの未受診者が受診しやすい環境の整備の取組や、保健推進(委)員等による受診勧奨等の推進 特定健康診査(特に被扶養者)の受診促進のための医療保険者や健診機関による課題調整会議など、職域における特定健康診査受診率の向上対策の検討 健康データウェアハウス[1]の運用による、生活習慣病に関連した情報の収集・分析・提供 特定健康診査や特定保健指導の従事者の資質向上

分野	目標項目	取組項目【選択肢】	取組内容
③ 糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> ■糖尿病有病者の増加の抑制(万人) ■治療継続者の割合の向上(%) ■糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少(人) 	8 糖尿病有病者の増加の抑制	<p>良好な食生活、適度な運動、適正体重[1]の管理、禁煙、適正飲酒等の生活習慣の重要性の普及啓発</p> <p>特定健康診査による糖尿病予備群やメタボリックシンドローム該当者・予備群の早期発見、特定保健指導による糖尿病有病者の増加の抑制</p>
		9 糖尿病の疾病管理	健康診査により糖尿病要治療となった者に対する医療機関への受診勧奨及び医療機関への未受診者や治療中断者に対するフォローの促進
		10 糖尿病合併症の発症防止	<p>糖尿病の悪化及び合併症の予防に係る、糖尿病治療の継続と良好な血糖コントロールの重要性の普及啓発及び治療に従事する医療関係者の資質向上</p> <p>血糖値の自己管理と医療関係者・機関の連携を推進するための「糖尿病連携手帳」(日本糖尿病協会編集)の活用促進</p>
④ 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	<ul style="list-style-type: none"> ■COPDの認知度の向上(%) 	11 COPDの認知度の向上	マスメディアを活用した広報、健康教室や健康まつり、COPDスクリーニング票[1]の活用などを通じた地域住民に対するCOPDの理解及び早期発見の促進
		12 COPD対策の推進	COPDの主要な原因である喫煙の健康への影響に係る普及啓発、禁煙支援、受動喫煙防止対策などの促進
⑤ 栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> ■適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18未満)の減少) ■適切な量と質の食事をとる者の増加 ■家族等で食事を共にする機会の増加 ■外食栄養成分表示登録店の増加 ■特定給食施設における管理栄養士・栄養士の配置の増加 	13 適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI25以上)やせ(BMI18未満)の減少)	<p>地域保健及び職場保健の健康教室や講演会の場を通じた適正体重の維持についての保健指導の実施</p> <p>学校保健の場や乳幼児健診の場を通じた適正体重の維持についての保健指導の実施</p> <p>体重記録の必要性についての普及啓発や体重記録のできる器具やインターネットホームページ等の紹介</p>
		14 適切な量と質の食事をとる者の増加	<p>「食事バランスガイド[1]」や「適量バランス弁当箱」を活用した適切な量と質の食事を摂取することの普及啓発</p> <p>減塩食の調理実習や減塩のために工夫した調理方法等の指導</p> <p>「野菜をプラス1皿」や「野菜から食べよう」等の声かけ運動の推進</p> <p>農政部門及び農業関係団体と連携した地産地消を活用した野菜・果物の健康機能の普及啓発</p>
		15 家族等で食事を共にする機会の増加	健康教室や健康講演会等における家族で食事を共に食べることの必要性についての普及啓発
		16 外食栄養成分表示登録店の増加	<p>「外食栄養成分表示登録店」の拡大や、登録店舗における栄養成分を表示する料理数の増加</p> <p>ホームページやリーフレット等を活用した外食栄養成分表示登録店の周知</p>
		17 特定給食施設における管理栄養士・栄養士の配置の増加	特定給食施設指導等の機会を通じた、管理栄養士・栄養士の未配置施設に対する配置の必要性についての指導
		18 日常生活における歩行数の増加	<p>ウォーキング教室やイベントの開催等、ウォーキングの体験機会の提供による日常生活でのウォーキングの習慣化</p> <p>「健康づくりのための身体活動基準2013」[1]等を活用した、日常生活の中で取り組みやすい歩行数増加の方法等についての普及啓発</p> <p>働きざかりの世代に対する階段の利用や通勤における歩行機会の確保等、就業の場面における身体活動の活発化に向けた普及啓発</p>
		19 運動習慣の定着	<p>地域での運動教室の開催等、県民の運動習慣の定着に向けた取組</p> <p>県民が自らの健康状態や生活リズム、好みにあった運動プランの提供や啓発活動</p> <p>地域で気軽に利用できる運動施設や各種運動教室等、健康づくりに資する運動に関する情報の積極的な提供</p> <p>生涯スポーツ振興の拠点となる総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援等、県民が日常的・継続的にスポーツを楽しむことができる環境整備</p> <p>職域における保健事業等を通じた、働きざかりの世代が運動しやすい職場づくりの促進</p> <p>岩手国体等の開催に向け、県民・企業・団体等と協働し、県民の積極的な参加を促すことによる県民のスポーツに対する意識の醸成</p>
20 住民が運動しやすいまちづくり・環境整備	<p>ウォーキングコース等の地域の運動施設の整備や運動機器の充実等、県民が利用しやすい運動環境の整備</p> <p>運動に関する自主グループの育成やボランティアの養成など、県民が仲間づくりをしながら楽しく継続的に運動できる環境づくり</p> <p>効果的な運動プランの提供及び指導のための健康運動指導者の資質の向上</p>		
⑥ 身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> ■日常生活における歩行数の増加(歩) ■運動習慣者の割合の増加(%) ■住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体の増加 	18 日常生活における歩行数の増加	<p>ウォーキング教室やイベントの開催等、ウォーキングの体験機会の提供による日常生活でのウォーキングの習慣化</p> <p>「健康づくりのための身体活動基準2013」[1]等を活用した、日常生活の中で取り組みやすい歩行数増加の方法等についての普及啓発</p> <p>働きざかりの世代に対する階段の利用や通勤における歩行機会の確保等、就業の場面における身体活動の活発化に向けた普及啓発</p>
		19 運動習慣の定着	<p>地域での運動教室の開催等、県民の運動習慣の定着に向けた取組</p> <p>県民が自らの健康状態や生活リズム、好みにあった運動プランの提供や啓発活動</p> <p>地域で気軽に利用できる運動施設や各種運動教室等、健康づくりに資する運動に関する情報の積極的な提供</p> <p>生涯スポーツ振興の拠点となる総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援等、県民が日常的・継続的にスポーツを楽しむことができる環境整備</p> <p>職域における保健事業等を通じた、働きざかりの世代が運動しやすい職場づくりの促進</p> <p>岩手国体等の開催に向け、県民・企業・団体等と協働し、県民の積極的な参加を促すことによる県民のスポーツに対する意識の醸成</p>
		20 住民が運動しやすいまちづくり・環境整備	<p>ウォーキングコース等の地域の運動施設の整備や運動機器の充実等、県民が利用しやすい運動環境の整備</p> <p>運動に関する自主グループの育成やボランティアの養成など、県民が仲間づくりをしながら楽しく継続的に運動できる環境づくり</p> <p>効果的な運動プランの提供及び指導のための健康運動指導者の資質の向上</p>

分野	目標項目	取組項目【選択肢】	取組内容
⑦ 休養	■睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の低下(%) ■月80時間超の時間外労働を行わせる雇用者の割合の低下(%)	21 睡眠による十分な休養の取得	地域や職場で実施している健康教育や健診等、様々な機会を活用し、ストレスや睡眠時無呼吸症候群等、睡眠障害の要因や睡眠による休養の重要性についての普及啓発 地域・職域が連携し、睡眠不足や睡眠障害について相談しやすい環境づくりを進めるとともに、地域等で実施しているこころの健康相談等の活用等の周知
		22 長時間労働の減少	労働関係機関・団体と連携し、労働者がこころと身体の健康の保持増進を図り、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）のとれた生活を送ることができるよう、長時間労働の抑制等労働環境の整備に向けた取組の促進
⑧ 飲酒	■生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の低下(%) 男性・女性 ■未成年者の飲酒をなくす ■妊婦の飲酒をなくす	23 適量飲酒の理解の促進	関係機関・団体と連携した、酒害相談窓口の設置、相談活動の充実、地域における飲酒による健康への悪影響に関する普及啓発 市町村や地域の断酒会と連携した、飲酒に関する相談窓口の充実、断酒支援 特定健康診査の問診等を活用した、多量飲酒者への保健指導の充実 特定健康診査従事者研修会等による保健指導従事者及び相談窓口担当者の資質の向上
		24 未成年者への飲酒対策	未成年者の飲酒ゼロに向けた、学校等における飲酒防止教育の実施、酒類販売店における未成年者への不売の徹底、県、市町村などによる酒害に関する出前教室の開催など、地域ぐるみの未成年者の飲酒防止の取組促進
		25 妊婦への飲酒対策	妊娠中や出産後の飲酒の防止に向けた、妊婦健診や母親学級、健康教室などでの女性・妊婦等に対する妊婦自身や乳児への飲酒の悪影響に関する知識等の普及啓発
		26 喫煙防止と禁煙支援	「世界禁煙デー」や健康教室、健康まつり等の機会を通じた、学校や事業所、関係機関・団体との連携によるたばこの健康への悪影響や受動喫煙防止に関する知識等の普及啓発 禁煙治療を行う医療機関の周知や地域住民に身近な存在である薬局が禁煙補助剤などによる禁煙支援を行う「禁煙サポート」、市町村と連携した「禁煙支援マニュアル」の活用による禁煙支援の実施
		27 未成年者へのたばこ対策	学校と連携した学校施設における敷地内禁煙や喫煙防止教育の実施、地域や事業所と連携した未成年者への喫煙防止教室やたばこの不売の徹底
⑨ 喫煙	■成人の喫煙率の低下(%) ■未成年者の喫煙をなくす(%) ■妊娠中の喫煙をなくす(%) ■受動喫煙の機会を有する者の割合の低下(%)	28 妊婦へのたばこ対策	健康教室、妊産婦健診や母親学級などを通じた女性・妊産婦等に対するたばこの悪影響に関する知識等の普及啓発及び積極的な禁煙支援
		29 受動喫煙防止対策の推進	多数の県民が利用する公共的な施設等の受動喫煙防止対策の状況の継続的な調査による県民への情報提供及び民間事業者、関係機関・団体などと連携した受動喫煙防止促進の働きかけ 県立施設及び市町村施設、医療機関における分煙化から禁煙化への取組促進 受動喫煙防止対策が進んでいない職場への訪問による受動喫煙防止対策の取組促進及び関係機関・団体と連携した企業・事業所に対する受動喫煙防止の働きかけ 学校や地域、職域と連携した家庭への受動喫煙の健康への悪影響についての普及啓発 禁煙・分煙に取り組む飲食店・喫茶店、観光施設、旅館・ホテルなどの登録働きかけ及びその取組の県民への周知など、公共的施設の受動喫煙防止対策の総合的な推進 路上における喫煙防止や勤務時間内の禁煙などに関する事例の研究、喫煙機会の抑制につながる施策についての市町村や関係機関・団体等との意見交換

分野	目標項目	取組項目【選択肢】	取組内容	
⑩ 口腔の健康	<ul style="list-style-type: none"> ■3歳児でむし歯がある者の割合の低下(%) ■3歳児でむし歯のある者の割合が30%以上である市町村の減少(箇所) ■12歳児でむし歯がある者の割合の低下(%) 	30 乳幼児・学齢期のむし歯の減少	乳幼児期における、仕上げ磨きや甘味飲食物の摂取等の歯科保健に係る生活習慣・保健行動のさらなる向上を目指した歯科保健指導、歯科健康教育等の推進	
			学齢期における、良好な生活習慣の獲得と保健行動の実践ができるための歯口清掃方法、生活習慣・食生活等に関する歯科保健指導、歯科健康教育等の推進	
			むし歯予防効果の高いフッ化物による予防法(フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口、フッ化物配合歯磨剤)と小高裂溝充填塞法(フィッシャー・シーラント[1])の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ■12歳児の一人平均むし歯数が1歯以上である市町村の減少(箇所) ■20・30歳代で歯肉に炎症所見がある者の割合の低下(%) ■40・50歳代で進行した歯周炎がある者の割合の低下(%) ■30・40歳代で喪失歯がある者の割合の低下(%) ■60歳代で進行した歯周炎がある者の割合の低下(%) ■60歳で24歯以上自分の歯を有する者の割合の向上(%) ■80歳で20歯以上自分の歯を有する者の割合の向上(%) ■60歳代における咀嚼良好者の割合の向上(%) ■成人期及び高齢期で定期的に歯科健康診査(検診)を受けている者の割合の向上(%) 	31 成人期における歯周病及び歯の喪失の防止	歯口清掃方法(特に歯間部清掃用器具の使用)、生活習慣・禁煙支援等に関する歯科保健指導、歯科健康教育等の推進	
			かかりつけ歯科医における定期検診、歯石除去・歯面清掃等の受診促進	
			糖尿病等の有病者に対する歯周病対策の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ■60歳代で進行した歯周炎がある者の割合の低下(%) ■30・40歳代で喪失歯がある者の割合の低下(%) ■60歳代で進行した歯周炎がある者の割合の低下(%) ■60歳で24歯以上自分の歯を有する者の割合の向上(%) ■80歳で20歯以上自分の歯を有する者の割合の向上(%) ■60歳代における咀嚼良好者の割合の向上(%) ■成人期及び高齢期で定期的に歯科健康診査(検診)を受けている者の割合の向上(%) 	32 高齢期における歯周病及び歯の喪失の防止並びに口腔機能の維持・向上	歯口清掃方法(特に歯間部清掃用器具の使用)、義歯の清掃、フッ化物による予防法(主にフッ化物配合歯磨剤の利用)、生活習慣・禁煙支援等に関する歯科保健指導、歯科健康教育等の推進	
			かかりつけ歯科医における定期検診、歯石除去・歯面清掃等の受診促進	
			糖尿病等の有病者に対する歯周病対策の推進	
			歯の喪失部位を速やかに義歯等で治療する意識を高めるなど、咀嚼機能の回復を促す普及啓発	
<ul style="list-style-type: none"> ■成人期及び高齢期で定期的に歯科健康診査(検診)を受けている者の割合の向上(%) 	33 成人期及び高齢期における歯科健康診査(検診)の受診者の増加	健康増進法に基づく歯周疾患検診及びその他の成人歯科健康診査の推進		
		歯科健康診査(検診)の重要性及びかかりつけ歯科医の必要性や役割等の普及啓発		
⑪ こころの健康	<ul style="list-style-type: none"> ■自殺者の減少(人口10万人当たり) ■気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の低下(%) ■メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加(%) 	34 自殺者の減少	「岩手県自殺対策アクションプラン」(平成24年11月)に基づく自殺対策を担う人材の育成、ハイリスク者への支援体制づくり、相談窓口のネットワーク化、ゲートキーパー[1]の養成など、中長期的な自殺対策の取組	
			35 こころの健康づくりの推進	各種の悩み相談窓口の連携の強化充実及びこころの健康に関する正しい理解、ストレスへの対処などストレスに関する正しい知識の普及啓発
				ゲートキーパーなどこころの健康づくりの活動を推進する人材養成の強化及び悩みを身近な人に相談したり、身近な人が互いに悩んでいる人に声をかけたりできるような地域づくりの推進
36 職場のメンタルヘルス対策の推進	労働関係機関・団体と連携した、こころの健康に関する普及啓発や労働環境の改善によるストレスの軽減に向けた取組、こころの健康に関する窓口の周知や気軽に相談できる体制の整備などの事業者への働きかけ			
⑫ 次世代の健康	<ul style="list-style-type: none"> ■朝食を毎日食べる子どもの割合の増加(%) ■運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加(%) 	37 健康的な生活習慣の定着	子どもの三食を必ず食べる食習慣の定着に向けた、学校における給食や栄養・食育教育、健康親子教室などの家庭向け教育、食生活改善推進員や地域の食育ボランティアなどによる栄養・食生活改善活動などの取組促進	
			日常生活における歩行数の増加、気軽に運動できるための運動施設等の環境整備、運動機会の提供や運動に関する情報提供などの社会全体での推進	
			教育機関における交通事故等不慮の事故防止教育の推進、乳幼児健診等での不慮の事故防止のための保護者への教育、応急措置や心肺蘇生の方法等地域や家庭に向けた啓発活動の促進	
	<ul style="list-style-type: none"> ■全出生数中の低出生体重児の割合の低下(%) ■肥満傾向にある子どもの割合の低下(%) 	38 適正体重の子どもの増加	妊娠前・妊娠期の正しい生活習慣の定着に向けた、健康教室や妊婦健診、母親教室などによる20歳代女性の適正体重の維持、女性(妊婦含む)の喫煙の防止、妊婦の飲酒の防止等の普及啓発(栄養・食生活、喫煙、飲酒の分野で詳述)	
			妊娠、出産、育児等についての健康教育や相談活動の充実及び本県独自の母子健康手帳の作成・配布による母と子の健康支援に関する情報提供の充実	
		子どもの肥満の予防・解消に向けた、学校における健康診断に基づく健康管理指導や体育等の教育の一環としての取組及び母親教室や子ども・親を対象とした肥満予防教室などによる適切な生活習慣を身に付けるための普及啓発		

分野	目標項目	取組項目【選択肢】	取組内容
⑬ 高齢者の健康	<ul style="list-style-type: none"> ■低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合の増加の抑制（％） ■ロコモティブシンドロームを認知している県民の割合の増加（％） ■市民活動に参加している60歳以上の者の割合の増加（％） 	39 高齢者の健康づくり、介護予防対策の推進	<p>壮年者を対象とする特定健康診査等と高齢者を対象とする介護予防事業の連携による、支援を必要とする壮年・高齢者の適切な把握、壮年期から高齢期までの切れ目のない生活習慣の改善及び健康づくりの推進</p> <p>高齢者の介護予防教室等の機会を活用した健康教育や、交通事故防止・農作業安全対策などの講習会、応急措置や心肺蘇生の方法の普及啓発等、県や市町村、関係機関・団体による不慮の事故防止対策の取組の強化</p>
		40 ロコモティブシンドロームの認知度の向上	市町村や関係機関・団体との連携による、マスメディアを活用した広報、老人クラブや高齢者大学、高齢者施設などを通じた地域住民に対するロコモティブシンドロームの普及啓発
		41 高齢者の社会参加の促進	高齢者の地域活動、社会貢献活動への参加と活動の活発化を促進するための情報提供及び高齢者の知識・技能・経験を生かした地域づくり団体への活動支援などによる高齢者の健康づくりや生きがいづくりの推進
⑭ 健康を支え、守るための社会環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■居住地域でお互いに助け合っていると思う者の割合の向上（％） ■健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている割合の向上（％） ■健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業数の増加（社） ■健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加（所） 	42 地域のつながりの強化	<p>地域住民が主体的に行う活動（※）への参加が自身と地域住民の健康づくりにつながるという意識の醸成※清掃活動、自治会活動、社会貢献活動など</p> <p>高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市町村や地域住民、関係機関・団体等と連携して、地域住民による自主的な健康づくり活動を支援することによる、地域における支え合い体制づくりの促進</p>
		43 健康づくりを目的とした活動への県民の主体的な参画	<p>健康づくりを目的としたボランティア活動について、市町村や関係機関・団体と連携し、インターネットや広報誌などの広報媒体を活用して幅広く住民に情報提供することによる、住民の主体的な参画の促進</p> <p>市町村や関係機関・団体と連携した地域の健康づくりを推進する人材の養成及び研修会の開催などによる資質向上への支援</p> <p>住民に様々な健康づくり活動の機会を提供できるよう、市町村や関係機関・団体と連携し、栄養教室や運動教室、健康まつりなど地域住民による自主的な健康づくり活動の支援</p>
		44 企業の自発的な取組の推進	がん検診受診率向上プロジェクト協定のほか、脳卒中や糖尿病などの生活習慣病の予防に取り組み企業との協定締結などを進め、県民の健康意識の向上や行動変容をサポートする企業の掘り起しを促進
		45 民間団体の健康支援活動の充実	<p>健康に関する専門的知識を有する者を構成員とする団体等（※）に対して、県民からの相談や健康づくりの支援の実施について協力を依頼するとともに、県民が身近で健康増進に関する情報入手や相談ができる環境を整備※医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・栄養士会・歯科衛生士会など</p> <p>市町村の健康まつりや関係機関・団体の主催する健康イベントにおいて、健康に関する専門的知識を有する者を構成員とする団体等が、その専門的知識を活かした相談や保健指導の機会を積極的に提供するよう働きかけ</p>
		46 被災者の健康支援の推進	<p>市町村や関係機関・団体と連携し、健康相談や運動・栄養教室などの食生活・運動習慣の改善のためのきめ細かな取組</p> <p>家庭訪問等による、応急仮設住宅入居者や災害公営住宅入居後の被災者の健康問題の早期把握と、要支援者への支援</p>
⑮ 東日本大震災津波後の健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率の低下【再掲】 ■介護保険の要介護（要支援）に該当する高齢者の増加の抑制【再掲】 ■がん健診受診率の向上【再掲】 ■特定健康診査・特定保健指導実施率の向上【再掲】 ■自殺者の減少（人口10万人当たり）【再掲】 ■気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合【再掲】 ■3歳児でむし歯がある者の割合の低下【再掲】 ■60歳代における咀嚼良好者の割合の向上【再掲】 ■市町村保健センターの復旧（新設） 	47 新たなコミュニティによる健康づくり	被災市町村における新たなまちづくりと連動した、関係機関・団体やNPO・企業・教育機関、ボランティア等、多様な主体の参画による健康づくりの推進
		48 健診受診率の向上	特定健康診査・特定保健指導やがん検診の実施率（受診率）の低い年代や地区等を対象とした重点的な普及啓発・受診勧奨等及び健診受診期間の拡大等利用者が受診しやすい環境の整備など、実施率（受診率）向上に向けた取組
		49 こころのケア、子どものこころのケア	<p>「震災こころの相談室」等での相談対応や支援を必要とする被災者への個別訪問、健康教育などによるきめ細かなこころのケアの取組</p> <p>「こころのケア」活動を担う「支援者」への研修等による人材育成及び関係機関とのネットワークの強化</p> <p>「いわてこどもケアセンター」を中心として、内陸部の子どもを含め適切なこころのケアを提供するとともに、関係機関と連携し子どものこころのケアを担う人材育成を支援</p>
		50 歯科保健活動の推進	<p>被災地における歯科健診、歯科保健指導、歯科相談、口腔ケア等の歯科保健活動による住民の健康づくりの推進</p> <p>歯科医療救護活動と災害時の口腔ケア等の歯科保健活動を円滑に実施するための災害時歯科保健医療体制の構築</p>
		51 市町村保健センターの復旧（新設）	地域医療再生基金等の活用による被災市町村の保健センターの復旧（新設）
		52 関係団体等との協力体制の整備	<p>災害発生に備えた災害時の保健活動、栄養・食生活支援に係るマニュアルの整備及び関係団体等との協定の締結等</p> <p>災害医療コーディネーター〔1〕や災害派遣福祉チーム等との連携による健康支援に係る協力体制の構築</p>
		53 新たなまちづくりによる健康づくり	被災市町村における新たなまちづくりと連動した、関係機関・団体やNPO・企業・教育機関、ボランティア等、多様な主体の参画による健康づくりの推進

健康いわて21プラン(第2次)の推進に関する健康づくり関連事業調査

推進協議会関係機関・団体

平成26年度事業実績

(順不同)

関係機関・団体名	No.	分野																準備(※主催・共催・委託等の別)	連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)	平成27年度事業予定(継続の有無)(事業名)						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	事業成果										
																	事業実施量(アウトプット) (例)実施回数、参加者数など					成果(アウトカム) (例)実施前後の変化など	対象・数				
事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業実施量(アウトプット) (例)実施回数、参加者数など	成果(アウトカム) (例)実施前後の変化など	連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)	平成27年度事業予定(継続の有無)(事業名)																		
岩手労働局	1										⑦						管内事業場	管内の中小企業	通年			管内の労働基準監督署による事業場に対する事後指導等	通年				継続
岩手労働局	2											⑧					運動喫煙防止対策助成金		運動喫煙防止対策助成金	通年							継続
岩手県保健推進委員等協議会	3															⑩	岩手県保健推進委員等協議会	岩手県保健推進委員等協議会	毎年実施			総会・研究会(講演・活動交流)	毎年実施				継続
岩手県保健推進委員等協議会	4															⑩	市町村保健推進委員研修会	地域の健康づくりサポーター養成研修	毎年実施				毎年実施				継続
岩手県保健推進委員等協議会	5															⑩	関係機関との連携	各種会議等への出席 ・岩手県国民健康保険推進会議 ・健康いわて21プラン推進協議会 ・岩手県国民健康保険推進会議 ・岩手県国民健康保険推進協議会 ・岩手県国民健康保険推進協議会 ・岩手県国民健康保険推進協議会	臨時				関係団体との連携強化			継続	
岩手県保健推進委員等協議会	6															⑩	組織員活動支援	健康づくりハンドブック(保健推進委員必携)第9版の発行	各年				発行部数 4,041部				継続
(公社)岩手県栄養士会	7																職中予防事業	講演会・公開講座事業	平成26年度				公開講座 釜石・盛岡2会場にて実施、参加者数：94名、巡回110名				内容の一部変更し継続
(公社)岩手県栄養士会	8																管理栄養士・栄養士の専門活動に関する研修事業			平成25年度～平成26年度							無(平成26年度にて終了)
(公社)岩手県栄養士会	9															⑫	栄養相談・食生活診断事業			平成10年度～毎年実施						継続	
(公社)岩手県栄養士会	10																調理実習 栄養教室事業			平成26年度							対象者及び内容の一部変更し継続

No.	分野															関係機関・団体名	事業目的	事業内容	事業期間	対象人数	事業実施回数 (例)実施回数、参加者数など	事業成果		連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)	事業予定 (継続の有無)
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15							成果 (アウトカム)	達成率			
11																		食を通じた心と体の健康づくり 健康教室	平成24年度 ～毎年実施	被災者仮設(みな し含む)居住者 164名	盛岡市5回実施:参加者79名、食品 州市2回実施:参加者21名、住込 町3回実施:参加者112名	食を通じた心と体の健康づくり及 び被災者の加圧を防ぐ地域コ ミュニティづくりを推進することに 繋がった。	・市町村	主催 (岩手県)	継続	
12																		岩手県民を対象に喫煙指数200以上の 禁煙希望者に対し、禁煙補助利を 使った禁煙指導を実施。(2週間分の ニコチンパッチを提供)1ヶ月後、3カ 月後の状況を調査。	H27年1月～ 3月	県民 209名対象	164名実施	4月末から3ヵ月後の禁煙継続 についてアンケート調査予定。た はこの書を再確認し禁煙チャレ ンジの機会を提供できた。	岩手県、薬 利師会	主催	継続(3ヵ月 後フォロー)	
13																		メンタルヘルスマネジメント 講座の開催	H26年4月～ H27年3月 (H28年度～ 継続)	事業所	子エック数:27,826人、事後指導者 数:46件 数:150人	チャックにより薬付きとなりバンタ ルヘルスマネジメント講座につな がった。事業所への全体説明により 継続指導改善につなげた。事 後指導(面接)で医療機関受診 勧奨につなげ悪化防止になっ た。	事業所、医 療機関	主催	継続	
14																		被災地仮設住宅の談話室等を定期 的に訪問し、健康相談を実施。	H26年3月～ H27年3月(H 28年～継続)	岩手県内の被災 地住民	1,057か所 8,000人	仮設住宅等の入居者の心身の 健康づくりや疾病予防の啓もう 活動が定着し定期的利用がなさ れた。市町村との連携により 支援者を受診につなげるなど疾 病予防になった。	岩手県	主催	継続	
15																		健康教育広報 「ラジオ番組」健康で 長生きするために」	S57～ 毎年実施	県民	毎週日曜日実施	県民の健康保持・増進に務める ことができた	各診療科医 生	主催	継続	
16																		健康経営広報 「新聞掲載」お元気 ですか」	H12～ 毎年実施	県民	毎月、最終火曜日	県民の健康保持・増進に務める ことができた		主催	継続	
17																		世界糖尿病予一市 民公開講座	H18～ 毎年実施	県民	年1回 100名	関係団体との連携を深め、県民 の健康保持・増進に務めること ができた	岩手県医師 会、岩手県 市医師会、日 本糖尿病学 会、日本糖尿病 学会、日本糖尿病 学会、岩手県予 防医学協会	主催	継続	
18																		医療機関における禁 煙の推進	H17～ 毎年実施	県内の医療機関	随時	県内の医療機関における前面 喫煙	県内全医療 機関	主催	継続	
19																		岩手県学校保健(学 校医)	S59～ 毎年実施	学校保健関係者 PTA 学校医等	年1回 174名	学校保健関係団体との連携を深 め、児童・生徒の健康保持・増進 に努めることができた	岩手県教育 委員会、岩手 県学校保健健 全委員会、岩手 県予 防医学協会	主催	継続	

No.	関係機関・団体名	分野															事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象者	事業実施量 (アウトプット) (別)実施回数、参加者数など	事業成果 (アウトカム) (別)実施前後の変化など	連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)	事業予定 (継続の有無)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15										
20	(一社)岩手県医師会																	いわて健康塾	県民の健康向上に貢献することを目指す。いろいろな分野の医師に講話いただいている。 ○第1回: 岩手県ミツバチ女性の会を支援(全県)～非結核性抗酸菌とNewフェイス検診 ○第2回: あなたにもできるアンチエイジング～更年期障害に悩む私たち～	H21～ 毎年実施	県民	年2回 150名×2回	関係団体との連携を深め、県民の健康維持・増進に努めることができた	テレビ岩手、岩手県赤十字会、健康新聞盛岡支局	共催	継続
21	NPO法人日本健康運動指導士会岩手県支部		②															岩手県血圧管理推進事業	岩手県血圧管理手帳の作成と応急処置住宅等に居住する高齢者の血圧の適正な自己管理を推進	平成26年度 12月18日～ 平成27年3月31日	被災地、沿岸部	岩手県血圧管理手帳の作成と応急処置住宅等に居住する高齢者の血圧の適正な自己管理を推進	岩手県保健福祉部	主催(岩手県保健福祉部)	継続	
22	NPO法人日本健康運動指導士会岩手県支部																	平成26年度NPO法人日本健康運動指導士会岩手県支部第1回研修会	大阪青山大学の村田トオル先生の講義より、幼児期からの運動習慣を身につけ、運動プログラム作成のヒントを得る	H27.2.15	健康運動指導士、健康運動実践指導者	研修会1回、62名参加	幼児期からの運動習慣を育てるコツと運動プログラム作成の心得	(公研)健康体方づくり事業、業材、健康日本21推進連絡協議会	主催	継続
23	NPO法人日本健康運動指導士会岩手県支部																	平成26年度「自殺対策強化月間」	身近な人が互いに声をかけたりできるような地域づくりの推進	平成27年3月1日～3月31日	被災地、沿岸部	沿岸部在住の健康運動実践指導者	岩手県保健福祉部	協賛	継続	
24	一般財団法人岩手県老人クラブ連合会																	長寿・健康推進事業	県内の高齢者(老人クラブの会員が大部分を占めている)を対象にウォーキングやグラウンドゴルフなど、高齢者が参加しやすく、安全に楽しめる取り組み、健康増進や介護予防に取り組んでいる。	平成25年度～毎年実施	高齢者及び後期高齢者	25年度実績、65回・7,483人	多くの高齢者が参加することによって、仲間づくりが広がり、高齢者の孤立防止にもつながっている。	岩手県後援高齢者広域連絡会及び各市町村老人クラブ連合会	主催	継続
25	一般財団法人岩手県老人クラブ連合会																	健康づくり推進員養成事業	老人クラブの会員を対象として、健康づくり推進員を養成。県内各地で健康増進のための運動に積極的に関わるのと同時に、その推進役として大きな役割を担って貰う。	平成25年度～毎年実施	地帯の高齢者	平成26年度末、35名の推進員を養成。	今後、推進員の総称化を図り、広域的な健康づくりのための仕組みを構築するなど、健康寿命をのばすための取り組みを展開していくものとする。	各市町村老老人クラブ連合会	主催	継続
26	(一社)岩手県歯科医師会																	第9回「8020健康フェスタ」	特別講演・健康講座「展示・スタンプラリー」体験学習コーナー等	6月8日	県民	参加者478名		盛岡市歯科医師会	共催	継続
27	(一社)岩手県歯科医師会																	岩手県いい歯の日	高齢講演・シンポジウム・展示・指導・相談コーナー・体験コーナー	11月9日	県民	参加者144名		岩手県久慈市	主催	継続
28	(一社)岩手県歯科医師会																	第16回岩手県歯科医師会大会・フォーラム「歯と健康」	県民健康講座・各種表彰・トークライブ展示	12月14日	県民	参加者302名		岩手県歯科教育委員会	主催	継続
29	(一社)岩手県歯科医師会																	イー・アール・トップ8020コンクール表彰	応募者を8020認定者として表彰または認定証を贈呈。うち10名程度を優秀賞とする。	7～10月	80歳以上の～	表彰者1,464名			主催	継続
30	(一社)岩手県歯科医師会																	岩手県学校歯科保健推進員表彰	表彰とするに足る成果を挙げたが、この表彰を行い、基本的な生活習慣の形成や心の健康づくり等を目指した健康親の育成を図ることを目的とする。	6月	小・中・高・特文	応募数202校 表彰校164校		岩手県教育委員会	主催	継続

関係機関・団体名	№	分野															No.	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		備考(※主催・共催・委託等の別)	運機機関	事業予定(継続の有無)
		事業成果																									
		事業実施量(アウトプット)	成果(アウトカム)																								
(一社)岩手県歯科医師会	31																歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール	30	歯科保健思想の普及・向上、身の回りから「アム」をとりえ表裏すること、歯科保健の重要性を認識させる	5~8月	幼・小・中・高・特支	応募数94点	成果(アウトカム) (例)実施前後の変化など	後援 岩手県教育委員会・県国公立幼稚園協会・県私立幼稚園協会 岩手県歯科医師会・県国公立幼稚園協会	継続		
																	「イ」劇トープ未表の8020表彰	30	歯科保健指導、う歯の早期処置動員、親子・家族、行動の向上を図る。	6~7月	保曹研(園)幼稚園	応募数72施設		後援 岩手県歯科医師会	継続		
																		体験学習・親子で遊ぶ「う」の中は小さな宇宙	30	歯科保健医療にふれあいがちな子どもたちに、関心や意識、行動の向上を図る。	7~8月 12~2月	小学校子ども会等	体験 夏休み26名、冬休み7名 出前 夏休み90名、冬休み155名			継続	
																		被災地口腔ケア推進事業	30、31、32、33	被災住民の歯・口腔の健康の維持増進	6~9月	宮古・釜石・氣仙地区	122応答返答回地491名 21施設 310名		委託 岩手県	継続	
(一社)岩手県歯科医師会	35																障がい児・若及び要介護高齢者等歯科保健サービス提供事業	32、33	障がい児・若施設、高齢者施設入所者に対する歯科検診、口腔ケア施設職員等に対する研修、実地指導	1~3月	県内施設	障がい者施設11施設204名 高齢者施設6施設176名 研修・実地指導24施設416名		委託 岩手県	継続		
																	岩手県後期高齢者歯科保健推進事業	32、33	H25.4.1~H26.3.31までに75歳の誕生日を迎えた方を対象とした歯科検診の実施	8~12月	県民	受診者1,667名		委託 岩手県後期高齢者医療広域連合	継続		
(一社)岩手県歯科医師会	37															協会のけんご歯科健診事業	31、33	協会のけんご加入者に対し、う歯等の早期発見・治療を推進	6~9月	協会のけんご加入事業所	20事業所214名		委託 全国健康保険協会	継続			
岩手県国民健康保険団体連合会	38																第2次健康ステップアップ運動	3,456,789,910,13,18,19,20,31,32,33,42,43	1 特定健診・特定保健指導事業の支援 2 ウォーキング等運動の推進 3 歯科保健推進 4 体制整備(保健活動用教材・備材の活用促進等)	平成20年度~毎年度	県内市町村	1 2市町 2 研修会1回(参加者138名)、2市町へ講師派遣 3 歯科保健推進チームを作成し、33市町村、16国民健康保険診療所施設へ配布 4 のべ37市町村へ機材の貸し出し		主催	継続		
																	絆支援推進	1、3,4,6、8,11,12、26,27,29、31	1)絆を希求する学生、教職員に対しては健康指導(心付付添い療法)、支援を希望する方に対しては「アム」の活用、他、呼吸器中一酸化炭素濃度測定や痔赤痔やアレルギーテストによる支援を実施。 2)健康診断面検時に絆支援PR、世界保健デー「アム」の学生とともに「アム」の普及の啓蒙の積極的支援を推進。 3)安全衛生管理室と連携し、門外周辺の環境整備、小学生の通学時間帯(5:00~17:00)の路上喫煙禁止等の実施。	1)2)H15~17年度 3)H26.4.1~	職員・学生	1)取組の支援者数 >H26年度新規登録者16名(学生13名、職員5名) 2)「アム」利用数 *未成年者管理室職員1名0.8%、支1.8%、全10.6% 3)毎日 *「アム」は平日毎日(安全衛生管理室中心)		主催	継続		
岩手大学保健管理センター	39															健康支援推進	18,19,39	毎週1回保健管理センター長の指導で実施している。	H12~	職員・学生・地域住民	開催回数39回 参加者(延べ人数):317人	職員、地域住民は健康づくりとして参加。学生は楽しい運動が不可得の体質の確保として参加する者が多い、世代間交流ととなり、1回あたりの参加者数が増えている。		主催	継続		
岩手大学保健管理センター	40															健康クラブ(太極拳)									継続		

No.	関係機関・団体名	分野											事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)	事業予定(継続の有無)(要項上)					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11						12	13				14	15	事業実施量(アウトプット)	成果(アウトカム)	
41	岩手大学 保健管理センター					⑤	③																			継続	
42	岩手大学 保健管理センター					⑤																					継続
43	岩手大学 保健管理センター		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫													継続
44	岩手大学 保健管理センター								⑦																		継続
45	(公社)岩手県看護協会								⑤	⑥																	継続 事業内容について変更予定
46	(公社)岩手県看護協会			①	②	③																					継続
47	(公社)岩手県看護協会			①	②	③																					継続
48	(公社)岩手県看護協会			①	②	③																					継続
49	(公社)岩手県看護協会			②	③																						継続

関係機関・団体名	No.	分野														No.	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象・数	事業成果		連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)	専業予定(継続の有無)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14							15	事業実施量(アウトプット)				成果(アウトカム)
(公社)岩手県看護協会	50						⑦										看護職のワークライフバランス(WLB)ワークシヨップ	看護職の働き続けられる職場づくりへの支援	平成25年～毎年1回	医療職205名	●取組病院毎現状分析(インテックス調査) ●講演・インテックス調査データの読み見方・WLB推進のためのアクションプラン・労働法教育等 ●個別ワーク	●取組病院毎現状分析(インテックス調査) ●講演・インテックス調査データの読み見方・WLB推進のためのアクションプラン・労働法教育等 ●個別ワーク	日本看護協会	共催	継続 平成26年より県委託事業		
(公社)岩手県看護協会	51											⑥					バランスウォーキング講座	始めませんか、姿勢を良くしてアンチエイジング	平成28年度	看護職・介護職28名	姿勢を良くする歩き方講座・実技						委託 金石市で開催
(公社)岩手県看護協会	52		①														乳がんの早期発見啓発活動		平成21年～毎年度	県民	ピンクリボンフェスタ及びイベント等での啓発活動		いわてピンクリボン	共催	継続		
全国健康保険協会岩手支部	53		①	②	③												生活習慣病予防健診	生活習慣病の予防・早期発見。し、胸や胃のレントゲン検査など全面的な検査を実施	平成20年～毎年度	主に35歳以上の被保険者	実施者数(申込) 63,000人・43.4%	生活習慣病の予防・早期発見・改善	健診実施機関	委託	継続		
全国健康保険協会岩手支部	54		②	③													特定健康診査	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診を実施	平成20年～毎年度	40歳以上の被保険者	実施者数(申込) 9,150人・19.3%	メタボリックシンドロームの予防・改善	健診実施機関	委託	継続		
全国健康保険協会岩手支部	55		①	②	③												特定保健指導	生活習慣病予防健診(特定健診)の結果に基づき、メタボリックシンドロームのリスク数に応じて、生活習慣の改善が必要な方に保健指導を実施	平成20年～毎年度	40歳以上の加入者	実施者数(申込) 被保険者1,685人・8.0% 被扶養者6人・0.8%	メタボリックシンドロームの改善	健診実施機関	主催・委託	継続		
全国健康保険協会岩手支部	56												⑩				歯科健診	歯周病とう他の早期発見・早期治療に着目し、歯・歯肉の検査、咬合力検査、歯科健康指導等を実施	平成26年～	35歳以上の被保険者	実施者数169人	歯周病とう他の早期発見・早期治療	岩手県歯科医師会	委託	継続		
全国健康保険協会岩手支部	57												⑩				業種・業態の特性に合わせた職場の健康づくり支援	業種・業態の特性に合わせた健康づくりメニューを提案し、職場全体に「ヒューマン・アクション・プログラム」を行うことにより、職場の健康づくり意識の向上を図ることを目的に実施	平成26年～	加入事業所の従業員	3事業所 (従業員数:約900人)	職場の健康づくり意識の向上	早稲田大学	主催	継続		
全国健康保険協会岩手支部	58																未治療者(血圧・血糖)に対する受診動向	主に生活習慣病の重症化を防ぐことを目的に、健診結果(血圧・血糖)で要治療と判定されながら医療機関に受診していない者に対して受診勧奨を実施	平成25年～	40歳以上の被保険者	平成25年度通知件数 血圧1,682件 血糖2,023件 両方該当297件	生活習慣病の重症化防止		主催	継続		
全国健康保険協会岩手支部	59																脳卒中予防にかかわる風知活動	脳卒中予防に係るポスターを作成し、県内保険医療機関・加入事業所等へ配布を実施し、脳卒中予防の内発的動機づけを行う	平成26年～	県民、加入者	県内医療機関2,300枚 県内事業所1,900枚 その他800枚	脳卒中予防の内発的動機づけに繋がった	岩手県医師会 岩手県看護協会 岩手県歯科医師会 岩手県薬剤師会 岩手県福祉センター	共催	継続		
全国健康保険協会岩手支部	60																運輸業と連携した健康意識醸成のための広報	運輸業・建設業などより健康度の低い運輸業に対し働きかけ、当該業種の事業所に勧める単発の健康づくり意識の向上を図ることを目的に実施	平成26年～	運輸業の加入者 業所の従業員	四半期ごとに岩手トラック協会、岩手県タクシー協会等の業界広報誌に協賛けんぽの健康啓発記事掲載	運輸業の事業所の従業員への健康づくり意識の向上	岩手県トラック協会、岩手県タクシー協会、岩手県バス協会、岩手県タクシー協会等	共催	継続		
全国健康保険協会岩手支部	61														⑤	⑪	メンタルヘルス・禁煙セミナーの開催	「職場における社員のメンタルヘルスケア」活動促進の推進性および現場における禁煙・分煙対策」等セミナーにセミナーを2回開催	平成26年～	県民、加入者	参加者数 ・7月開催 約300人 ・3月開催 約160人	職場でのメンタルヘルス・禁煙対策の内発的動機づけに繋がった	岩手県、岩手県医師会	共催	継続		

関係機関・団体名	No.	分野												事業内容	事業期間	対象者数	事業成果		連携機関	備考(※主催・共催・委託等の別)	事業予定(継続の有無) (※留意点)		
		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫															事業実施量 (アウトプット) (例)実施回数、参加者数など	成果 (アウトカム) (例)実施前後の変化など					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12										
全国健康保険協会岩手支部	62	②														7	事業所の健康度が記載された「医療費適正化診断シート」を待参の上、事業所を訪問し、会社の健康度について直接説明し、特定保健指導の活用を促すこと(対話)	事業所の健康度が記載された「医療費適正化診断シート」を待参の上、事業所を訪問し、会社の健康度について直接説明し、特定保健指導の活用を促すこと(対話)	87事業所へ訪問	特定保健指導の実施率向上	岩手県、本プロジェクト協定締結団体	主催	継続
全国健康保険協会岩手支部	63	①														1, 2	岩手県、本プロジェクト協定締結団体と相互に連携、協力を進め、県民のがん検診受診率向上に向けた取り組みを実施	岩手県、本プロジェクト協定締結団体	がん検診受診率の向上	岩手県、本プロジェクト協定締結団体	共催	継続	
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	64	②														3・4・6・14	「適習習定養促進事業」実施(おみそ汁〜)	「適習習定養促進事業」実施(おみそ汁〜)	実施回数 2,064回 対象者数 7,156人	食生活改善の場分選定を測定することで、適量・減塩に対する意識づけに繋がった。	市町村	主催	家庭訪問の継続と併せて調理講習会を開催する
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	65	⑤														13・14	「カルシウム不足」の改善を行い規則正しい食習慣を身につけた講習会を開催	「カルシウム不足」の改善を行い規則正しい食習慣を身につけた講習会を開催	開催回数 59回 参加者数 1,210名	調理講習でカルシウム摂取とVD摂取の必要性について意識が高まった。	市町村	委託事業	継続予定あり、詳細は未定。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	66	②														14・15・37・38	こどもの時から正しい食習慣を身につける事と朝に牛乳の大切さを取り、取ってもらおう事を目的とした講習会を開催	こどもの時から正しい食習慣を身につける事と朝に牛乳の大切さを取り、取ってもらおう事を目的とした講習会を開催	開催回数 32回 参加者数 745名	保護者の多くが、共食の意味や大切さについて意識が高まった。	市町村	委託事業	継続予定あり、詳細は未定。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	67															5・6・8・13・14	同世代への自立支援や、30歳代からの生活習慣予防をテーマにした講習会を開催	同世代への自立支援や、30歳代からの生活習慣予防をテーマにした講習会を開催	開催回数 6回 参加者数 64名	健康や食生活の自立の大切さについて、男性参加者の意識が高まった。	市町村	委託事業	未定。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	68															39・40・41	低栄養・認知症予防教室	低栄養・認知症予防教室	開催回数 5回 参加者数 101名	参加者の多くが、ロコモティブシンドロームの意味を理解できた。	市町村	委託事業	継続予定あり、詳細は未定。
岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	69															3・4・42・43	「TUNAGU(たぐ)パートナーシップ専業(第2弾)」	「TUNAGU(たぐ)パートナーシップ専業(第2弾)」	開催回数 25回 参加者数 554名	家庭訪問で地域でお互い支え合う意識が高まった。	市町村	委託事業	未定。
岩手産業保健総合支援センター	70															34, 35, 36	研修会の開催	研修会の開催	37回 1,263名 訪問指導 70件	ストレスチェック、職場復帰対策の周知	医師会、労働局、労働基準協会	主催	継続
岩手産業保健総合支援センター	71															26, 29	喫煙	喫煙	1回	分煙対策の周知		主催	継続
岩手産業保健総合支援センター	72	②														3, 7	脳卒中(脳血管疾患)・心疾患	健康診断、生活習慣病対策の周知	8回 570名	健康診断、生活習慣病対策の周知		主催	継続
岩手産業保健総合支援センター	73															31, 32, 33	口腔の健康	口腔対策の重要性の周知	1回 4名	口腔対策の重要性の周知	岩手県歯科医師会	主催	継続